IPA
INFORMATION-TECHNOLOGY PROMOTION AGENCY, JAPAN

プレスリリース
2008 年 8 月 12 日
独立行政法人 情報処理推進機構
セキュリティセンター

「ウイルスセキュリティ」および「ウイルスセキュリティ ZERO」における セキュリティ上の弱点（脆弱性）の注意喚起

独立行政法人情報処理推進機構（略称：IPA、理事長：西垣 浩司）は、「ウイルスセキュリティ」および「ウイルスセキュリティ ZERO」におけるセキュリティ上の弱点（脆弱性）に関する注意喚起を、2008 年 8 月 12 日に公表しました。

（URL： http://www.ipa.go.jp/security/vuln/documents/2008/200808_Zero.html ）

この脆弱性は、細工された圧縮ファイルをスキャンした場合に、当該製品の機能が停止してしまうというものです。

悪用されると、ウイルスが検知できなくなってしまうため、ウイルスに感染しやすくなる可能性があります。

対策方法は**「製品開発者が提供する最新バージョンにアップデートする」**ことです。

1. 概要

ソースネクスト株式会社が提供する「ウイルスセキュリティ」および「ウイルスセキュリティ ZERO」はウイルス対策ソフトです。「ウイルスセキュリティ」および「ウイルスセキュリティ ZERO」はファイルのスキャン処理において圧縮ファイルの取扱いに問題があり、サービス運用妨害(DoS)状態となるセキュリティ上の弱点（脆弱性）が存在します。この弱点が悪用されると、「ウイルスセキュリティ」および「ウイルスセキュリティ ZERO」のスキャン処理が停止し、以降ウイルスが検知できなくなってしまうため、ウイルスに感染しやすくなる可能性があります。

最新情報は、次の URL を参照下さい。

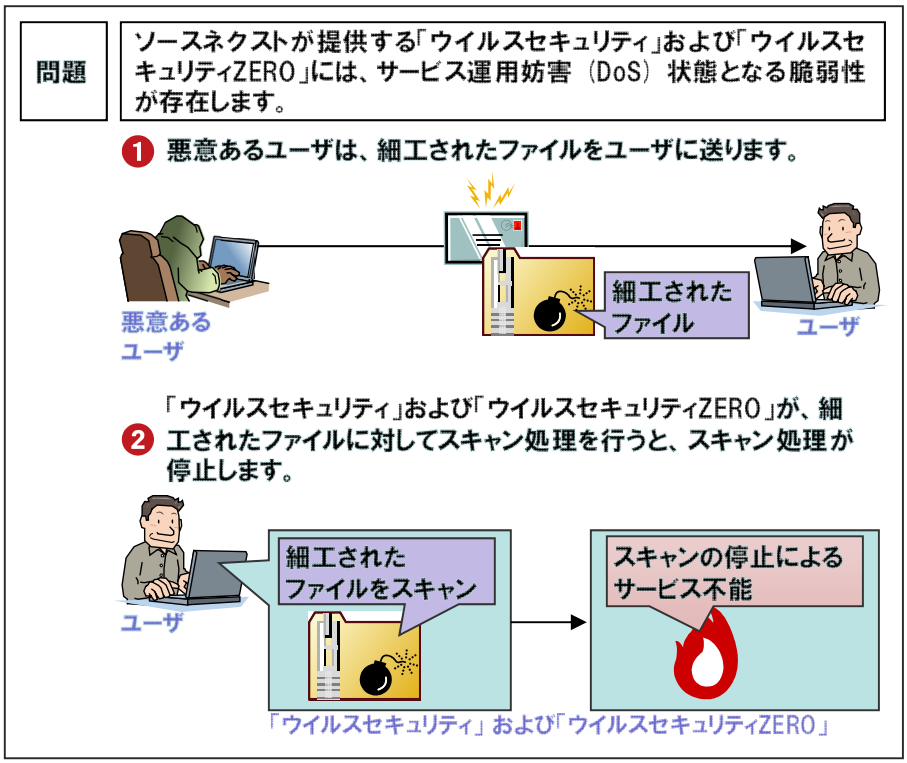
http://jvndb.jvn.jp/contents/ja/2008/JVNDB-2008-000050.html

本脆弱性情報は、情報セキュリティ早期警戒パートナーシップに基づき、2008 年 3 月 11 日に次の報告者から IPA が届出を受け、有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター（JPCERT/CC）が製品開発者と調整を行ない、2008 年 8 月 12 日に公表したものです。

報告者： (株)フォティーンフォティ技術研究所 鵜飼 裕司 氏

2. 脆弱性による影響

細工されたファイルを何らかの方法(メール添付、ウェブ上からのダウンロード、ファイル交換ソフトなど)で取得したユーザのコンピュータ上で、当該ファイルが「ウイルスセキュリティ」および「ウイルスセキュリティ ZERO」にスキャンされた場合、スキャン処理が停止します。以降ウイルスが検知できなくなってしまうため、ウイルスに感染しやすくなる可能性があります。



3. 対策方法

対策方法は**「製品開発者が提供する最新バージョンにアップデートする」**ことです。

4. 本脆弱性の深刻度[1]

(1)評価結果

本脆弱性の深刻度 (CVSS[2]基本値の範囲)	□ レベルⅠ(注意) (0.0～3.9)	■ レベルⅡ(警告) (4.0～6.9)	□ レベルⅢ(危険) (7.0～10.0)
本脆弱性の CVSS 基本値		**4.3**	

(2)CVSS 基本値の評価内容

AV:攻撃元区分	□ ローカル	□ 隣接	■ ネットワーク
AC:攻撃条件の複雑さ	□ 高	■ 中	□ 低
Au:攻撃前の認証要否	□ 複数	□ 単一	■ 不要
C:機密性への影響	■ なし	□ 部分的	□ 全面的
I:完全性への影響	■ なし	□ 部分的	□ 全面的
A:可用性への影響	□ なし	■ 部分的	□ 全面的

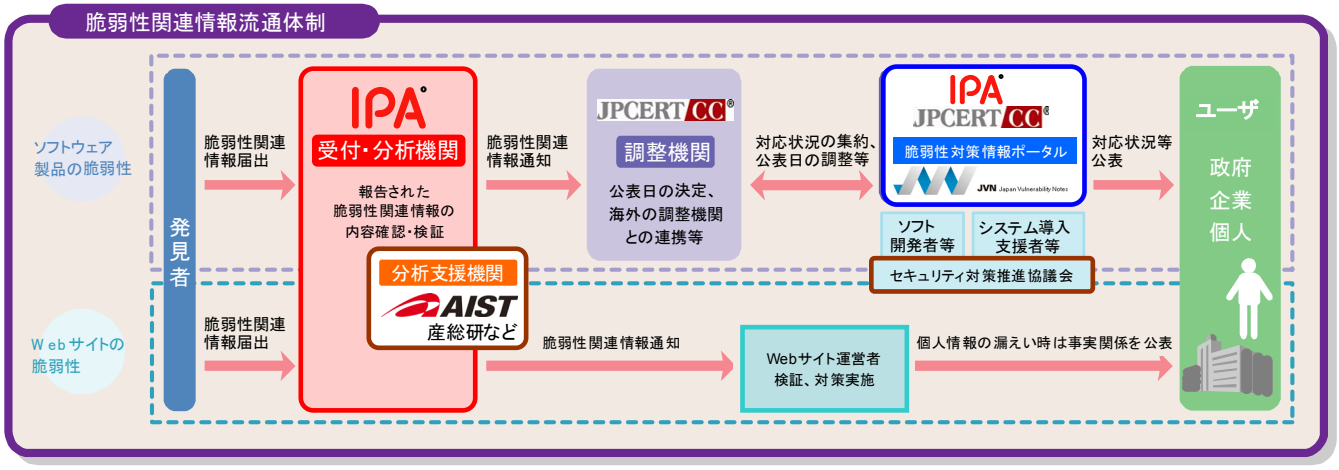
■:選択した評価結果

AV:AccessVector,AC:AccessComplexity,Au:Authentication,C:ConfidentialityImpact,I:IntegrityImpact,A:AvailabilityImpact

5. 参考情報

(1)「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」について

ソフトウェア製品及びウェブサイトの脆弱性対策を促進し、コンピュータウイルスやコンピュータ不正アクセス等によって、不特定多数のコンピュータ(パソコン)に対して引き起こされる被害を予防するため、経済産業省の告示に基づき、官民の連携体制「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」を整備し運用しています。



※JPCERT/CC:有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター、産総研:独立行政法人 産業技術総合研究所

[1] 脆弱性の深刻度評価の新バージョン CVSS v2 への移行について。http://www.ipa.go.jp/security/vuln/SeverityLevel2.html
[2] Common Vulnerability Scoring System。共通脆弱性評価システム。http://www.ipa.go.jp/security/vuln/SeverityCVSS2.html

■ 本件に関するお問い合わせ先
独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター 山岸／渡辺
Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp
■ 報道関係からのお問い合わせ先
独立行政法人 情報処理推進機構 戦略企画部広報グループ 横山／大海
Tel: 03-5978-7503 Fax:03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp